

(一社)釜石観光物産協会臨時総会 議事録

1. 開催日時 平成 30 年 3 月 20 日 (火) 14 時 30 分
2. 場 所 釜石ベイシティホテル「海都」
3. 出席理事 代表理事 澤田政男
業務執行理事 新里進、及川佳則、後藤英輔、山元一典、和田利男
4. 欠席理事 業務執行理事 赤崎光男
5. 監 事 千葉健司
6. 議 長 代表理事 澤田政男
7. 事務局 専務理事兼事務局長 和田利男、事務局次長 佐々木一伸

8. 議事の経過の要領及びその結果

和田事務局長が出席理事数を確認し、過半数である 4 名以上をもって議決されることが報告された。同時に、定款第 20 条に基づき、澤田代表理事、新里業務執行理事、及び及川業務執行理事を議事録署名理事としたい旨提案があり承認され、議事に入った。

(1) 議案第 1 号 釜石観光物産協会の一般社団法人への移行に伴う財産の取得について

議長が、議案第 1 号の説明を事務局に求めた。

和田事務局長より、議案第 1 号について説明があった。

審議の結果、異議なく承認された。

(2) 議案第 2 号 平成 30 年度事業計画(案)について

(3) 議案第 3 号 平成 30 年度収支予算(案)について

議長が、議案第 2 号と第 3 号を一括して説明するよう事務局に求めた。

和田事務局長より、議案第 2 号と議案第 3 号について説明があった。

新里理事から、あったかメルヘン・夢灯り事業の内容、及びまるごと味覚フェスティバルにおけるテントのリース代について質問があった。

和田事務局長より、シープラザ遊が解体されても引き続き横手市から出前かまくらを招きたいが、場所及び物産のあり方等は今後検討していく旨の説明があり、了承された。

また、佐々木事務局次長から、テント代は170万円程度であると回答した。

及川理事より、DMO法人が観光の目玉を作っていくべきであると、青森などで行われているカタクリの花畑を実例にした提案があった。

DMOに関して山元理事からも、海底の掃除を行いながら釜石よいさに参加し、サン・フィッシュも訪れて帰っていく夢ワカメワークショップの実例を挙げ、今釜石に来ている観光客を確実につかみながら、実績を地道に積み重ねていく努力が必要という発言があった。

及川理事からはさらに、DMOが観光協会などの業務とバッティングしないよう注意しながら進むべきであるという考えが示された。

質疑を行い審議の結果、異議なく承認された。

以上をもって発議、意見開陳は無いと認められたので、議長は議事を終了した旨を延べ15時19分に閉会を宣言した。

平成30年3月30日

議長（代表理事） 澤田政男 ㊟

議事録署名理事 新里 進 ㊟

議事録署名理事 及川佳則 ㊟